

一般質問14人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。
なお、9月定例会会議録は、12月中旬から閲覧可能です。

深谷 幸次郎

問 地デジ完全移行に伴う難視聴地区の対策並びに共聴施設及び低所得者層への支援はどのようになっているのか。

答 共聴施設への支援は、国の場合は事業費の3分の2、既設の場合は2分の1を補助、NHKはどちらの場合でも、残額から個人負担の7000円×世帯数を控除した分、1世帯あたり10万円を上限として補助対象となる。市は、国・NHKの補助及び個人負担を控除した分は補助となるが、新設の場合は事業費の6分の1、既設の場合は4分の1が上限となる。また、低所得者層への支援は生活保護などの公的扶助を受けている世帯、障がい者がいる世帯でかつ世帯全員が市町村民税非課税措置を受けている世帯、社会福祉事業施設に入所しており、自らテレビを持ち込んでいる世帯、NHK受信料が全額免

除となっている世帯は、地デジチューナー支援センターが、簡易チューナーの設置とアンテナ改修を無償で行うことになっている。

石名 国光

問 死亡原因のトップ、ふえ続けるがん患者の実情から、早期発見と予防対策として、検診の大切さを教育カリキュラムに入れ「がん予防対策」が必要と考えるがどうか。

答 小学5・6年生には肺がんの恐ろしさ等、中学では生活習慣病や喫煙と健康の学習、がん予防と早期発見の大切さを指導している。

問 子宮頸がんは予防できる唯一のがんであり、ワクチン接種支援策について市の見解をお聞かす。

答 厚生労働省で平成23年度予算要求にワクチン接種の公費助成を盛り込むとしており、国の動向を見る考えである。

問 市民から救急患者受入で

できなかった件数は。

答 平成21年度で受入れできなかった件数は159件である。

問 救急体制について市民からの指摘が多い。これらの指摘に市はどのようにとらえているかお聞かす。

答 市民の救急医療を確保するため、関係機関への要請、コンビニ受診の抑制や適正な受診意識の啓発に努める。



深谷 久雄

問 県内児童生徒の「学力向上成果が表れていない」という。本市の全国学力・学習状況調査の結果はどのような状況か伺う。

答 総合的に見ると、白河市は全国平均をやや上回るレベルにある。今の学力レベルに甘んじることなく、さらに向上するよう指導したい。

問 先ごろ二宮金次郎伝に触れ、日本民族として誇る偉人であることを知り得た。小中学校から二宮金次郎像が見えなくなった。話が聞こえなくなった事情は何か伺う。

答 二宮金次郎像は、小学校15校中、11校に設置されている。農村再建に力を尽くしたすぐれた農政家で、土木・建築、文学、教育の各方面でも才能を発揮した人物である。心豊かな児童・生徒の育成のために、「勤勉向上心」を象徴とする二宮金次郎を初め、松平定信公など日本を代表する偉人について、教職員もその偉業功績について認識を深め、児童・生徒の教育に当たるとして指導する。



佐川 京子

問 市民会館について

答 老朽化や耐震補強の必要性や舞台の狭さや練習室がないなど、機能的な問題も顕在化しており、改善を望む市民の声も聞かれるので、近い将来に改築や大規模改修、立地場所等、整備の方向性を検討したい。

問 スポーツの振興について

答 スポーツ情報の発信も大切なので、ホームページを充実してスポーツの広報に努める。また、全国大会への出場者の市民への周知も図りたい。

問 市民の健康増進と地域のきずなづくりのためにラジオ体操や踊りを行政で後押ししてはどうか。

答 公民館活動やスポーツ健康課等に働きかける。

問 市のキャッチコピーを合併5周年でもあり、さらなる市民の一体感醸成のため決定してはどうか。

答 イメージアップにも効果的なので検討したい。

問 新図書館の愛称を募集してはどうか。

答 市民みんなに愛され親しみのある愛称を検討します。